

## 令和4年度 第1回 学校運営協議会

- 1 日時・場所 令和4年5月31日（火） 午前9時から午前11時50分  
伊豆田方分校 PC室
- 2 参加者 学校運営協議会委員  
河野 真人、鈴木 志津子、岩田 聡志、海野 貴、川口 佐知子  
  
伊豆田方分校  
校長、教頭、主事、教務課長
- 3 協議事項等
  - (1) 校長挨拶
    - (ア) コミュニティスクールについて（資料参照）
      - ・学校評議会→学校運営協議会に変更（独立した組織として学校運営に取り組む）
      - ・袋井市の実践紹介（外国籍児童の支援→学校全体の良さにつながる）
      - ・目の前のことから始めていただきたい。（適切な役割分担、人材育成→地域におけるインクルーシブにつながる）
  - (2) 学校運営に係る意見交換
    - (イ) 学校経営について（教頭）※学校経営書参照  
学校教育目標『共に育てる 自立と輝き』
      - ・「安心」については生徒個人によって捉え方が違うので、それぞれに合ったものを整えたい。

<安全>

      - ・地域にも貢献できる防災教育（自助・共助）の実践
      - ・生徒個人を尊重した生徒指導を徹底する
      - ・特別の教科道徳を教育課程に設定（実体験と結びつける）
      - ・性の指導に関しては情報教育や教職員の研修と絡めながら行う

<専門>

      - ・入学から卒業までのつながりを意識する
      - ・中学校の支援学級との連携を深めたい（勤労観）
      - ・卒業後を見据える（職業での進路学習）
      - ・授業で iPad などを活用し、情報リテラシーを身に付け、携帯電話などでのトラブルを減らしていきたい。

<連携>

      - ・地域の施設と作業班との交流（公的機関、施設など）

<チーム>

- ・教材のデータ化をして共有
- ・本校との情報共有と連携

(ウ) 質疑応答

Q. 道德教育についてはどのようなことを行っているか

(仕事の場面での道徳的な価値観が集団の中で重要となっている・自分の行動様式にまで高めることは難しいので高校生までに実践に結びつけるようになれるとよい・生徒の実態によっては内容の精選が必要では?・スマートフォンの危険性についても指導してほしい)

A. 授業としての道徳(特別の教科道徳)、教育活動全体としての道徳を学校では実践している。

A. 授業の中で携帯電話のマナーについては行っているが、積み重ねていく必要性を感じている。

(3) 学校概要(主事)

- ・4月からの行事、作業学習(園芸班、清掃班、陶芸班、木工班)の様子について

<全体をとおしての意見交換>

Q. 三島南高校の清掃活動について、同じ立場の高校生の通っている高校に行くのは違和感があるが。(田農の清掃をしてもよいのでは)

A. 学習の場としての実習先(施設)として捉えているが、今後は相手校にも事前の学習として、理解してもらえそうな場を設定していく必要がある。

<感想>

- ・生徒の頑張っている姿が見られて(作業)、よかった。話すことが苦手な生徒を他の生徒がフォローしている様子が見られ、とても素敵なことだと感じた。
- ・相手との信頼関係(安心)がないと何をするにしてもうまくいかないと思うので、そこからスタートだと感じた。作業の技術的な部分は素晴らしい。同年代の子たちに自分達のすごさを認めてもらえるような作業をしてほしい。
- ・作業はすごいと思った。現在、福祉サービスの事業所で木工や陶芸を扱うところが減っている(工賃の値上がり、機械設備の費用大など)が、清掃事業は増えている。(専門性を持った職員が指導している)
- ・今の企業のニーズに合わせて作業内容を考える必要があるし、その逆に少ないものを魅力として売り込む必要性もある。
- ・作業的な取り組みは良い環境で行われている。相談事業所では、就労から脱落してしまった人が来るので、学校にいるうちから早めに相談をしてほしい。(具体的な情報を早めに)

伝えてほしい。)

- ・世の中の需要に合った作業学習を学校全体や特別支援教育全体で考えることも必要ではないか。生徒の能力を引き出すことの重要性。高等部は自立支援につながることをみんなで考えていくことが大切だと思う。

○学校でもカリキュラムについて今日の意見を取り入れて考えていきたい。

○多様な人材活用の一環として専門性を持った人材を紹介していただきたい。

#### 次回の確認

第2回 令和4年10月24日(月) 9:00～

第3回 令和5年2月6日(月) 9:00～